

《定例北海道函館方面公安委員会会議等概要》

令和7年12月24日（水）、次のとおり定例会議を開催した。

1 審議・報告内容

(1) 1月中行事予定

高橋警務課長から、1月中行事予定について報告を受けた。

(2) 11月中の苦情受理・措置状況

能戸監察官室長から、「11月中の苦情受理・措置状況」について報告を受けた。

中田委員から「警察には、現場措置のみならず、事後に管理者等に対して必要な措置を講ずるよう指導することも求められている。そうしたことにも想像力を働かせ、防止に努めていただきたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「警察所管の業務ではなくても、市町村をはじめ、各種対応窓口を教示してあげるなど、一歩踏み込んだ対応により、防止に努めていただきたい。」旨の発言があった。

(3) 事業者と連携した特殊詐欺等被害防止対策の実施状況

徳田生活安全課長から、事業者と連携した特殊詐欺等被害防止対策の実施状況について報告を受けた。

齋藤委員長から「犯人側は、あの手この手でだましにかかってくるので、効果的な啓発を続けていただきたい。」旨の発言があった。

(4) 少年の立ち直り支援活動の実施状況

徳田生活安全課長から、少年の立ち直り支援活動の実施状況について報告を受けた。

中田委員から「劣悪な家庭環境やいじめにより、居場所をなくして非行に走る少年も多い。大変良い活動なので、介護ボランティア等で感謝される喜びを知ってもらう取組や、指導者の指導を受けながらスポーツで汗を流す取組など、実施内容の更なる充実にも期待したい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「農業体験は福祉の現場でも取り入れられている。達成感を得られたり、コミュニケーション能力の向上が図られるなど、多くの意味を付与できると思う。警察において、このような活動が行われていることを知り、大変感心した。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「改めて、生活安全部門が幅広い業務を担当していることを実感した。引き続き頑張ってください。」旨の発言があった。

(5) 全道交通死亡事故多発警報に伴う交通安全対策の実施結果

河奥交通課長から、全道交通死亡事故多発警報に伴う交通安全対策の実施結果について報告を受けた。

中田委員から「重大事故が多い国道5号の対策が重要だと感じている。また、トラック協会やバス協会といったプロドライバーを有する企業が加盟する団体等とも協力し、各種啓発を進めていただきたい。」旨の発言があった。

(6) 外国人ドライバーに対する交通事故防止対策の推進

河奥交通課長から、外国人ドライバーに対する交通事故防止対策の推進について報告を受けた。

中田委員から「素早く対応していただいた。スマートフォンで見られる気軽さや、多言語への対応など、大変効果的な啓発だと思う。」旨の発言があった。

岡崎委員から「多くの人に視聴してもらえるように、ビラ設置箇所の拡大にも努めていただきたい。同時に、日本とは交通法規が大きく異なる国の方に対しても、日本の交通法規を遵守してもらえるよう、継続的な啓発をお願いしたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「当方面における外国人ドライバーの多くは、日本国内居住者による観光旅行によるものと思われる。冬季においては、本州以南と北海道の道路環境は大きく異なるため、必要な取組だと思うので、よろしくをお願いしたい。」旨の発言があった。

(7) 刑事関係主要事件発生・検挙状況

小玉捜査課長から、刑事関係主要事件発生・検挙状況について報告を受けた。

中田委員から「解決に向けて頑張ってください。今後もよろしくをお願いしたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「高齢者も多い地域であり、不安は大きかったと思う。犯人検挙によって、地域の方が安心して新年を迎えられることは大変喜ばしいことである。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「現場周辺で暮らす住民の方が感じた不安は非常に大きかったと思う。早期に検挙していただいたことについて、感謝申し上げたい。」旨の発言があった。

## 2 決裁・報告内容

- (1) 少年補導委員運営規程の一部改正について報告を受け、決裁を行った。
- (2) 外部通報の対応経過について報告を受けた。

以 上